

## 平成24年度 疾病対策課関係予算(案)の概要

事 項	平成 23 年 度 予 算 額	平成 24 年 度 予 算 ( 案 )	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	千円	千円	千円	千円	千円
I 難病対策	(209,487,892)	(213,192,158)	(3,704,266)	<対前年度比 101.8%>	
	28,844,850	35,843,944	6,999,094	<対前年度比 124.3%>	
				1 調査研究の推進	(16,941,792) → (16,233,054)
				厚生労働科学研究費	(16,941,792) → (16,233,054)
				(主な事業)	
				・難治性疾患克服研究兎業	(8,000,000) → (8,000,000)
				・健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーション(難病分)	(2,000,000) → (2,000,000)
				○新・難病対策の国際的連携	0 → 1,523
				2 医療施設等の整備	( 事 項 ) → ( 事 項 )
				・重症難病患者拠点・協力病院設備	
				(保健衛生施設等設備整備費のメニュー)	
					(191,753,560) → (196,119,249)
				3 医療費の自己負担の軽減	28,052,310 → 35,004,089
				(主な事業)	
				・特定疾患治療研究事業	28,044,204 → 35,000,000
				4 地域における保健医療福祉の充実・連携	585,738 → 633,053
				(主な事業)	
				・難病相談・支援センター事業	166,401 → 166,411
				・重症難病患者入院施設確保事業	153,956 → 153,977
				・難病患者地域支援対策推進事業	140,945 → 142,590
				・神経難病患者在宅医療支援事業	7,007 → 7,056
				・難病患者認定適正化事業	52,044 → 52,488
				・難病情報センター事業	27,142 → 27,142
				・特定疾患医療従事者研修事業	3,114 → 3,030
				・難病患者サポート事業	20,133 → 20,133
				○新・難病患者の在宅医療・介護の充実強化事業【一部重点化】	0 → 45,230
				5 QOLの向上を目指した福祉施策の推進	206,802 → 206,802
				・難病患者等居宅生活支援事業	
				①難病患者等ホームヘルプサービス事業	
				②難病患者等短期入所事業	
				③難病患者等日常生活用具給付事業	
				④難病患者等ホームヘルパー養成研修事業	

(参考)年少扶養控除等の廃止による地方財政の増収分の対応の一部を特定疾患治療研究事業の地方の超過負担の財源として活用(平成24年度暫定的対応)269億円 ※難病対策として予算(案)に計上しているものではない。

事 項	平成 23 年度	平成 24 年度	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	予 算 額	予 算 ( 案 )		千 円	千 円
Ⅱ エイズ 対策	千円 (6,043,799)	千円 (5,682,630)	千円 (△361,169)	<対前年度比 94.0%>	
	1,127,206	1,191,667	64,461	<対前年度比 105.7%>	
				(420,560) →	(356,835)
				1 原因の究明・発生の予防及びまん延の防止	98,761 → 89,883
				(主な事業)	
				・エイズ発生動向調査経費	3,071 → 3,747
				・血液凝固異常症実態調査事業	6,997 → 6,964
				・HIV感染者等保健福祉相談事業	87,245 → 79,172
				・保健所等におけるHIV検査・相談事業	(319,601) → (265,269)
					(665,762) → (822,449)
				2 医療等の提供	599,614 → 762,669
				(主な事業)	
				○新・HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介 護の環境整備事業【一部重点化】	0 → 39,587
				○新・中核拠点病院連絡調整員養成事業	0 → 12,275
				・HIV診療支援ネットワークシステム運営事業	24,000 → 23,222
				・HIV診療医師情報網支援事業	13,251 → 13,192
				・地方ブロック拠点病院整備促進事業	200,000 → 200,000
				・血友病患者等治療研究事業	339,792 → 459,916
				3 研究開発の推進	(3,016,313) → (2,749,927)
				(主な研究事業)	
				・エイズ対策研究の推進	(1,235,915) → (1,075,018)
				・外国人研究者招へい等研究推進事業	(205,749) → (177,885)
				・エイズ・結核合併症治療研究事業	(30,418) → (30,418)
					(322,676) → (257,328)
				4 国際的な連携	19,513 → 3,328
				・エイズ国際協力計画推進検討事業	11,695 → 1,291
				・エイズ国際会議研究者等派遣事業	7,818 → 2,037
					(1,254,488) → (1,167,091)
				5 人権の尊重・普及啓発及び教育・関係機 関との新たな連携	234,318 → 195,787
				(主な事業)	
				・NGO等への支援事業	175,145 → 153,011
				・「世界エイズデー」啓発普及事業	35,622 → 28,164
				・青少年エイズ対策事業	9,536 → 5,716
					(175,000) (140,000)
				6 都道府県等によるエイズ対策促進	175,000 → 140,000
				・エイズ対策促進事業費等補助金	175,000 → 140,000
				7 独立行政法人国立国際医療研究センター 運営費交付金	(189,000) → (189,000)
				・エイズ医療治験研究費	(189,000) → (189,000)

事 項	平成 23 年度	平成 24 年度	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	予 算 額	予 算 ( 案 )		千 円	千 円
Ⅲ ハンセン 病対策	千円 (39,335,259)	千円 (38,849,116)	千円 (△486,143)	<対前年度比 98.8%>	
	4,885,228	4,867,347	△ 17,881	<対前年度比 99.6%>	
				1 謝罪・名誉回復措置	1,354,263 → 1,417,591
				(主な事業)	
				・ハンセン訴訟和解経費	320,000 → 230,000
				・国外ハンセン病療養所入所者等補償経費	585,191 → 561,033
				・中学生を対象としたパンフレット作成	24,412 → 24,412
				・シンポジウム開催・普及啓発資料作成	19,826 → 19,798
				・国立ハンセン病資料館運営経費	298,489 → 301,629
				・再発防止検討調査事業委託費	16,058 → 16,057
				・歴史的建造物の保存等に関する経費	60,710 → 239,671
				〔うち重監房再現にかかる経費〕	[48,596] → [227,557]
					(34,688,233) → (34,198,744)
				2 在園保障	238,202 → 216,975
				・国立ハンセン病療養所の運営経費等	(34,450,031) → (33,981,769)
				・私立ハンセン病療養所の運営経費等	238,202 → 216,975
				3 社会復帰・社会生活支援	3,292,763 → 3,232,781
				(主な事業)	
				・国内ハンセン病療養所退所者給与金	2,982,444 → 2,930,724
				・国内ハンセン病療養所非入所者給与金	64,477 → 66,805
				・療養所入所者家族に対する生活援護	41,641 → 32,940
				・社会復帰者支援事業	84,430 → 85,140
				○新 [ハンセン病対策促進事業]	[0] → [25,710]
				※[ ]は再掲	

事 項	平成 23 年度	平成 24 年度	差 引 増 △ 減 額	主 な 内 容	
	予 算 額	予 算 ( 案 )		千円	千円
IV リウマチ・アレルギー対策	千円	千円	千円		
	(710,666)	(591,834)	(△118,832)	<対前年度比 83.3%>	
	20,778	20,766	△ 12	<対前年度比 99.9%>	
				1 リウマチ・アレルギー疾患に関する正しい情報の提供	13,618 → 13,606
				・リウマチ・アレルギー対策検討会経費	367 → 363
				・リウマチ・アレルギー相談員養成研修経費	3,251 → 3,243
				・アレルギー相談センター事業費	10,000 → 10,000
				2 リウマチ・アレルギー疾患に関する医療の提供	7,160 → 7,160
				・リウマチ・アレルギー特別対策事業費	7,160 → 7,160
				3 リウマチ・アレルギー疾患に関する研究等の推進	(689,888) → (571,068)
			厚生労働科学研究費		
			・免疫アレルギー疾患等予防・治療研究	(689,888) → (571,068)	
V 腎疾患対策	(237,234)	(236,849)	(△385)	<対前年度比 99.8%>	
	13,846	44,333	30,487	<対前年度比 320.2%>	
				1 腎疾患に関する正しい情報の提供	3,377 → 3,369
				・腎疾患対策検討会経費	1,088 → 1,082
				・腎疾患普及啓発経費	2,289 → 2,287
				2 腎疾患に関する医療の提供	10,469 → 40,964
				・慢性腎臓病(CKD)特別対策事業費	10,469 → 9,926
				○新・腎疾患重症化予防実践事業	0 → 31,038
				3 腎疾患に関する研究等の推進	(223,388) → (192,516)
				厚生労働科学研究費	
			・腎疾患対策研究	(223,388) → (192,516)	
VI 慢性疼痛対策	(130,000)	(122,677)	(△7,323)	<対前年度比 94.4%>	
	0	10,000	10,000		
				1 慢性疼痛に関する正しい情報の提供	0 → 10,000
				○新・からだの痛み・相談支援事業	0 → 10,000
				2 慢性疼痛に関する研究等の推進	(130,000) → (112,677)
			厚生労働科学研究費		
			・慢性の痛み対策研究	(130,000) → (112,677)	

事項	平成23年度	平成24年度	差引 増△減額	主な内容		
	予算額	予算(案)		千円	千円	
VII 移植対策の推進	千円 (2,732,345)	千円 (2,655,988)	千円 (△76,357)	<対前年度比 97.2%>		
	2,532,345	2,483,627	△ 48,718	<対前年度比 98.1%>		
				1 臓器移植対策の推進	759,164 →	699,830
				・臓器移植対策事業費	719,374 →	664,929
				あっせん業務関係事業費	393,080 →	375,229
				あっせん事業体制整備費	298,906 →	262,312
				普及啓発事業費	17,382 →	17,382
				運営管理費等経費	10,006 →	10,006
				・移植対策費	39,790 →	34,901
				・アイバンク設備整備事業		
				・組織バンク設備整備事業		
				2 造血幹細胞移植対策の推進	1,773,181 →	1,783,797
				(1) 骨髄移植等の推進	1,131,415 →	1,119,007
				・骨髄移植対策事業費	451,988 →	453,531
				あっせん業務関係事業費	355,069 →	355,069
			あっせん事業体制整備費	13,900 →	15,441	
			普及啓発事業費	83,019 →	83,021	
			・骨髄データバンク登録事業費	679,427 →	665,476	
			(2) さい帯血移植の推進	641,766 →	664,790	
			・さい帯血移植対策事業費	641,766 →	664,790	
			さい帯血保存管理業務費	612,557 →	631,849	
			さい帯血情報管理経費	27,744 →	30,840	
			日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	1,465 →	2,101	
			・さい帯血バンク設備整備事業			
			3 その他	(200,000) →	(172,361)	
			・免疫アレルギー疾患等予防・治療研究経費(移植医療研究分野)	(200,000) →	(172,361)	
VIII 肝炎対策	(23,739,389)	(23,896,972)	(157,583)	<対前年度比 100.7%>		
	21,590,135	18,799,997	△ 2,790,138	<対前年度比 87.1%>		
				肝炎対策の充実 (主な事業)		
				・感染症対策特別促進事業	15,962,226 →	14,544,272
				・特定感染症検査等事業	1,653,275 →	1,653,443
				・健康増進事業	3,818,913 →	2,447,497
				・肝炎対策推進協議会経費	2,130 →	2,482
				・肝炎総合対策費	118,850 →	118,058
				・肝炎研究基盤整備事業	34,741 →	34,245
				・肝炎等克服緊急対策研究経費	(1,611,397) →	(1,289,118)
				・難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業	(500,000) →	(450,000)
				・B型肝炎の創薬実用化等研究事業【重点化】	(0) →	(2,800,000)
				・その他、他課・他局計上事業分	(37,857) →	(557,857)
				※ 肝炎情報センター事業については、独立行政法人国立国際医療研究センター事業予算として、運営費交付金により引き続き取組を実施。		
	課計	(282,416,584)	(285,228,224)	(2,811,640)	<対前年度比 101.0%>	
	59,014,388	63,261,681	4,247,293	<対前年度比 107.2%>		

※( )書きは、他課、他局計上分及び他局対策分を含めた額。

難治性疾患克服研究事業（臨床調査研究分野）の対象疾患  
（○は特定疾患治療研究事業対象）

血液系	特発性造血障害	○再生不良性貧血、溶血性貧血、不応性貧血（骨髄異形成症候群）、骨髄線維症
	血液凝固異常症	○特発性血小板減少性紫斑病、特発性血栓症、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）
	原発性免疫不全症候群	○原発性免疫不全症候群
免疫	難治性血管炎	○大動脈炎症候群（高動脈炎）、○ビュルガー病（バージャー病）、○結節性動脈周囲炎、○ウェゲナー肉芽腫症、○悪性関節リウマチ、アレルギー性肉芽腫性血管炎、側頭動脈炎、抗リン脂質抗体症候群
	自己免疫疾患	○全身性エリテマトーデス（SLE）、○皮膚筋炎及び多発性筋炎、シェーグレン症候群、成人スティル病
	パーチェット病	○パーチェット病
内分泌系	ホルモン受容機構異常	偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD受容機構異常症、TSH受容体異常症、甲状腺ホルモン不応症
	間脳下垂体機能障害	○PRL分泌異常症、○ゴナドトロピン分泌異常症、○ADH分泌異常症、○下垂体機能低下症、○クッシング病、○先端巨大症、○下垂体性TSH分泌異常症
	副腎ホルモン産生異常	原発性アルドステロン症、偽性低アルドステロン症、グルココルチコイド抵抗症、副腎酵素欠損症、副腎低形成（アジソン病）
	中枢性摂食異常症	中枢性摂食異常症
代謝系	原発性高脂血症	原発性高脂血症（○家族性高コレステロール血症（ホモ接合体））
	アミロイドーシス	○アミロイドーシス
神経・筋	遅発性ウイルス疾患	○クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）、○ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病（GSS）、○致死性家族性不眠症、○亜急性硬化性全脳炎（SSPE）、進行性多巣性白質脳炎（PML）
	運動失調症	○脊髄小脳変性症、○シャイ・ドレーガー症候群、○線条体黒質変性症、○副腎白質ジストロフィー、ペルオキシソーム病
	神経変性疾患	○筋萎縮性側索硬化症（ALS）、○パーキンソン病、○進行性核上性麻痺、○大脳皮質基底核変性症、○ハンチントン病、○脊髄性筋萎縮症、○球形脊髄性筋萎縮症、脊髄空洞症、原発性側索硬化症、有棘赤血球舞蹈病
	ライソゾーム病・ペルオキシソーム病	○ライソゾーム病、ペルオキシソーム病
	免疫性神経疾患	○多発性硬化症、○重症筋無力症、ギラン・バレー症候群、フィッシャー症候群、○慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多巣性運動ニューロパチー（ルイス・サムナー症候群）、単クローン抗体を伴う末梢神経炎（クロー・フカセ症候群）、HTLV-1関連脊髄症（HAM）
	正常圧水頭症	正常圧水頭症
	モヤモヤ病	○モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）
視覚系	網膜脈絡膜・視神経萎縮症	○網膜色素変性症、加齢性黄斑変性症、難治性視神経症
聴覚・平衡機能系	前庭機能異常	メニエール病、遅発性内リンパ水腫
	急性高度難聴	突発性難聴、特発性両側性感音難聴
循環器系	特発性心筋症	○特発性拡張型（うっ血型）心筋症、○肥大型心筋症、○拘束型心筋症、○ミトコンドリア病、○ファブリー病、家族性突然死症候群
呼吸器系	びまん性肺疾患	○特発性間質性肺炎、びまん性汎細気管支炎、○サルコイドーシス
	呼吸不全	○原発性肺高血圧症、○特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）、若年性肺気腫、ランゲルハンス細胞組織球症、肥満低換気症候群、肺低換気症候群、○リンパ脈管筋腫症（LAM）
消化器系	難治性炎症性腸管障害	○潰瘍性大腸炎、○クローン病
	難治性の肝・胆道疾患	○原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎、○難治性の肝炎のうち劇症肝炎、肝内結石症、肝内胆管障害
	門脈血行異常症	○バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群、特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症
	難治性膵疾患	○重症急性膵炎、膵嚢胞線維症、慢性膵炎
皮膚・結合組織	稀少難治性皮膚疾患	○表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）、○膿胞性乾癬、○天疱瘡、先天性魚鱗癬様紅皮症
	強皮症	○強皮症、好酸球性筋膜炎、硬化性萎縮性苔癬
	混合性結合組織病	○混合性結合組織病
	神経皮膚症候群	○神経線維腫症Ⅰ型（レックリング・ハウゼン病）、○神経線維腫症（Ⅱ型）、結節性硬化症（プリングル病）、色素性乾皮症（XP）
	重症多形滲出性紅斑	○重症多形滲出性紅斑（急性期）
骨・関節系	脊柱靭帯骨化症	○後縦靭帯骨化症、○広範脊柱管狭窄症、○黄色靭帯骨化症、前縦靭帯骨化症、進行性骨化性線維異形成症（FOP）
	特発性大腿骨頭壊死症	○特発性大腿骨頭壊死症、特発性ステロイド性骨壊死症
腎・泌尿器系	進行性腎障害	IgA腎症、急速進行性糸球体腎炎、難治性ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎
スモン	スモン	○スモン